

平成 30 年度プロジェクト研究実績報告書

【研究課題名】	中学生の職業体験における大学の研究室訪問～千葉市教育委員会と連携で行うキャリア教育の構築～
【研究代表者】	原田 恵理子（東京情報大学・准教授）
【研究分担者】	田邊 昭雄（東京情報大学・教授） 吉武 幸恵（東京情報大学・講師） 中嶋 のり子、末廣 啓子（千葉市教育委員会）

【研究の目的】

平成 29 年 3 月、千葉市は「千葉市のキャリア教育～生涯を通じたキャリア発達の支援に向けて～」を策定した。その背景として、中学校の職場体験は体験先に偏りがあること、体験内容に改善の必要があるという課題が挙げられ、教育委員会等の役割を含めたキャリア教育の視点から、職場体験全体の在り方を見直すことが急務の課題とされた。現在、千葉市の中学校では、2 年生の 5 月下旬から 6 月に職場体験を実施している。望ましい職業観・勤労観及び職業に対する知識や技能を身に付けさせるとともに、主体的に進路を考えるための自己理解・自己管理能力の育成を図っている。その一方、超高齢社会を迎え、IoT や AI が活用される第 4 次産業時代における働き手の中核を担う立場になる中学生が、働き方が大きく変化することを予想し、時代の変化を理解した職業の創造と選択、キャリア発達の形成といった新たな視点のキャリア教育が必要になってくる。しかし、現段階ではそれらの視点を考慮し、「来るべき時代の職業を創造し職業意識の向上する」ことは目指されていない。そこで、本研究では、職場体験を包括した職業体験としてのキャリア教育の視点からプログラムを開発することを目的とする。

【研究報告】

今年度は、次年度（2019 年度）の実施に向けた準備を行った。キャリア形成として身につけさせたい能力とその能力に基づく職業体験としての職場体験、検証方法、学校選定等を千葉市教育委員と、同時進行で、キャリアプランニング能力における文献レビューや意義の検討等を東京情報大学が行った。12 月以降は、学校への周知と学校選定、システム構築等を千葉市教育委員会と検討し、千葉市教育委員会が実施校選定に動き、2 月に決定した。3 月には実施校に本実践と研究の説明と今後のスケジュール確認をする打ち合わせを行った。以上より、キャリアプランニング能力の育成を目指す大学研究室訪問の職場体験とその効果検証を 2019 年 5 月に実施することになった。

【連携先・総評】

千葉市教育委員会学校教育部教育指導課指導主事 末廣啓子

千葉市の中学校で実施している職場体験は、キャリア教育の視点からの見直し、工夫・改善が重要とされている。そこで今年度、職業体験学習の一環としての「職場体験の在り方」について検討を重ね、プログラム開発に向けた準備を行ってきた。大学研究室を職場体験先とし、見学や授業体験だけでなく、それらの活動が実際の社会の中につながる学びと自分の将来とのつながりを意識させることを目的とする。今後は、大学研究室訪問によるキャリアプランニング能力の育成に向け、事前事後学習を含む「中学生の職業体験学習プログラム」を開発し、将来に向けた新たなキャリア教育を目指す。